

(財)財務会計基準機構会員



2008年4月10日

各 位

会社名 双日株式会社
代表者名 代表取締役社長 加瀬 豊
(コード番号 2768 東証第1部 / 大証第1部)
問合せ先 広報部長 稲田 隆
電話番号 03 5520 3404

当社子会社（日商エレクトロニクス株式会社）の業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である日商エレクトロニクス株式会社（コード番号9865）は、2007年10月26日に公表しました2008年3月期（2007年4月1日～2008年3月31日）の通期業績予想について、添付資料のとおり修正を行いましたのでお知らせいたします。

なお、当社の2008年3月期の通期連結業績は、現在集計作業中ですが、本件は当社の連結業績予想を変更するような影響はありません。

（添付）

日商エレクトロニクス株式会社の開示資料

以上



平成 20 年 4 月 10 日

各 位

会 社 名 日商エレクトロニクス株式会社
代表者名 代表取締役社長 辻 孝夫
(コード番号 9865 東証第 1 部)
問合せ先 執行役員経理部長 堀江 敏伸
(TEL . 03 - 3544 - 3780)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 10 月 26 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 20 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（ 1 ）通期連結業績予想数値の修正

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	58,000	2,800	3,000	1,700
今 回 修 正 予 想 (B)	54,400	2,320	2,440	1,770
増 減 額 (B - A)	3,600	480	560	3,470
増 減 率 (%)	6.2	17.1	18.7	-
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	62,142	2,223	2,030	3,451

（ 2 ）通期個別業績予想数値の修正

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	53,000	2,900	3,000	1,900
今 回 修 正 予 想 (B)	49,000	2,530	2,640	1,920
増 減 額 (B - A)	4,000	370	360	3,820
増 減 率 (%)	7.5	12.8	12.0	-
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	57,225	2,012	2,144	3,346

2. 修正の理由

(通期連結業績予想数値の修正)

売上高につきましては、ソリューション/サービス関連部門における通信キャリア向けビジネスおよびエンタープライズ向けビジネスは、前回予想を上回って推移する見込みであります。一方、エレクトロニクス関連部門は、引き続き大手エレクトロニクスメーカー、PCメーカーおよび量販店向けハードディスクドライブの販売が低迷し、更には新規商材の立ち上げ遅れもあり、前回予想を大幅に下回る見込みであります。その結果、前回予想に比べ6.2%減の54,400百万円となる見込みであります。

利益につきましては、保守サービスが堅調に推移していること、高付加価値ビジネスの強化による高収益体質への転換を進めていること、更には営業効率の改善に努めていることにより、引き続き利益率が改善しております。しかしながら、エレクトロニクス関連部門の売上高減少の影響および一部の連結子会社の業績が低調に推移したことにより、前回予想に比べ営業利益は17.1%減の2,320百万円、経常利益は18.7%減の2,440百万円となる見込みであります。当期純利益につきましては、平成20年4月2日付「平成20年3月期末の投資有価証券評価損および関係会社株式評価損に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、投資有価証券評価損および関係会社株式評価損4,074百万円を特別損失として計上いたしますので、1,770百万円となる見込みであります。

(通期個別業績予想数値の修正)

売上高につきましては、上述の通期連結業績予想の修正理由によるものであり、前回予想に比べ7.5%減の49,000百万円となる見込みであります。

利益につきましては、上述の通期連結業績予想の修正理由同様、引き続き利益率が改善しているものの、エレクトロニクス関連部門の売上高減少の影響により前回予想に比べ、営業利益は12.8%減の2,530百万円、経常利益は12.0%減の2,640百万円となる見込みであります。当期純利益につきましては、平成20年4月2日付「平成20年3月期末の投資有価証券評価損および関係会社株式評価損に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、投資有価証券評価損および関係会社株式評価損4,449百万円を特別損失として計上いたしますので、1,920百万円となる見込みであります。

なお、平成20年3月期の期末配当金につきましては、平成19年10月26日の決算発表時に公表いたしましたとおり、1株当たり10.00円を予定しております。

以 上

前述の業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。